

ロープウェイ入口電停周辺

# 景観まちづくり ニュースレター

vol.4

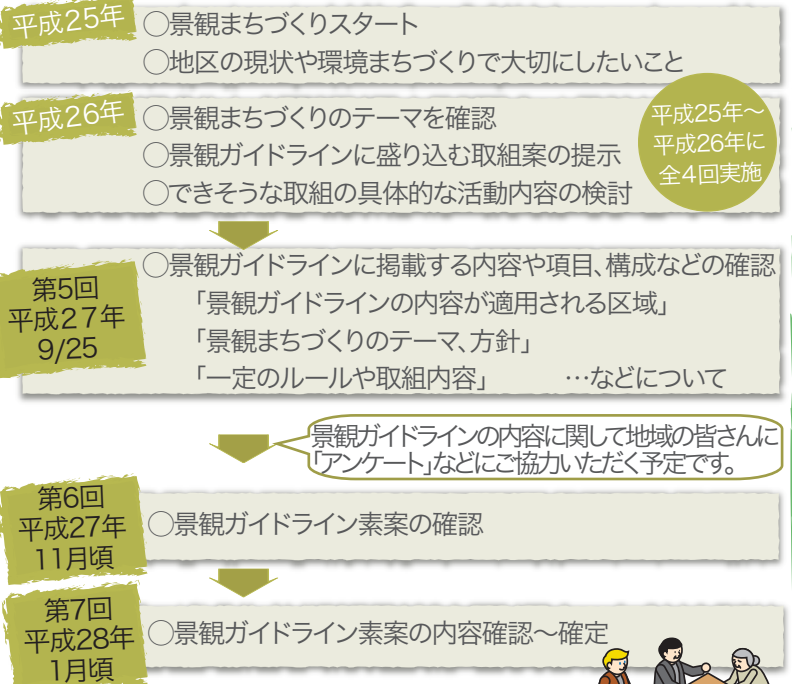
発行者：札幌市地域計画課  
発行日：平成27年(2015年)9月



## 景観まちづくりに関する 取組を行っています!!

- 路面電車の路線ループ化などの機会をとらえ、沿線地区の景観的な魅力を高めていくための景観まちづくりの取組を行っています。
- 平成25年度から地域特性の把握や意見交換などを始め、平成26年度以降も地域の皆さまと意見交換を行いながら景観ガイドラインづくりを具体的に進めていきます。景観ガイドライン策定後は、同ガイドラインに基づいた取組を展開していく方針です。

### 景観ガイドライン作成に向けたスケジュール



### 第4回意見交換会を行いました

- 第4回の意見交換会には山鼻第12・第18町内会を中心とした地域住民の皆さんにお集まりいただきました。
- 今回は3回目までの意見内容のまとめを共有し「これまで挙げられてきた“できそうなこと”の、活動内容を具体的に考えてみましょう!」と題してグループごとに地域の目線で意見交換を行いました。
- また、ゲストとして「札幌市イメージコーディネート研究会(SICS)」の方を講師として招き、「地域のカラーパレット」について情報提供をいただきました。併せて、地域のイメージを色に変換していくためのお試しアンケートも行いました。
- アンケートの結果や、参加者の皆さまの意見などは裏面で紹介します。

### 景観ガイドライン作成に向けたまとめ(3回目までのまとめ)

- 第3回目までの意見交換を経て景観ガイドラインづくりに向けたまとめを検討しました。その内容について参加者の皆さんと共有しました。
- 右記の内容は、具体的な景観ガイドライン作成に向けて要点を整理したものです。現時点では、地域の皆さんから出された意見内容のポイントとお考えください。

- 地区の魅力的なところ、改善したいところ  
【魅力的なところ】好きなところ、地域の資産など 【改善したいところ】困っているところなど

### 景観まちづくりのテーマ 藻岩山を地域のシンボルとした景観まちづくり ～藻岩山のみどりを感ずる閑静で豊かな暮らしと、賑わいの調和を図る～

- 6つの大切にすべきこと
  1. 藻岩山の美しい自然・シンボル性
  2. 路面電車や屋外広告物の景観配慮
  3. たくさんの“緑”を創出
  4. 地域にあった魅力的な街並みデザイン
  5. 人を惹きつける文化の継承
  6. 静かな住環境イメージ

- 景観まちづくりの取り組み
  - 街並みづくりを検討するうえで大事な要素
    - 【デザイン】
      - ・藻岩山のシンボル性を大切にするデザインとする (自然素材、山への眺望など) など
    - 【色】
      - ・地域の色のテーマを考える など
    - 【緑】
      - ・人が集まる場所や主要な道路などに、花植えや植栽をする など
    - 【オープンスペース】
      - ・地先や空地は積極的に緑化し、空間の有効活用を図る など
    - 【広告物】
      - ・地域にふさわしい景観に配慮した広告物について考える など
  - みんなで取り組む地域の活動案
    - 1. 沿道緑化・花植え活動
    - 2. 冬ならではの景観づくり
    - 3. 地域の魅力を地域内外にPR
    - 4. 観光客の案内
    - 5. 地域の色などを考える
    - 6. 地域のマップづくり





●みんなで取り組む地域の活動案(表面参照)は1～6までありましたが、特に意見が多かったものを以下に掲載いたします。

## 沿道緑化・花植え活動

### ■現在の取組状況

- ・町内会や近くの商店の方々と一緒に、花壇づくりや花植えに取り組んでいる(市電通り、環状通り沿いなど)。
- ・伏見小学校校歌にもあるサルビアの花を、小学生も交えて植えている。
- ・苗は札幌市から提供してもらっている。
- ・水やりは気づいた人が行っている。

### ■今後の取り組み方

#### 【花による地域のイメージづくり】

- ・例えば、赤いサルビアで統一して地域のイメージにしているか。
- ・シャトルバスの乗り場の前を花壇にし、花時計のようなシンボルをつくってはどうか。

#### 【連携を図った活動の進め方】

- ・個々で花植えをしていくのではなく、水やり等の管理もさらに連携していくべき。
- ・ただし、すぐ出来るものではなく、難しい面もある

## その他

### 【これからの景観まちづくりの進め方】

- ・ハード整備の考え方や、札幌市が行うことなどの全体像を把握したい。
- ・景観ガイドラインは、行政、町内会などの地域、個人でできることに分けて見せていくべき。

## 地域の魅力を地域内外にPR

### ■今後の取り組み方

#### 【地域の人や地域の事を知る】

- ・「散策路」にあまり行ったことがない。
- ・スタンプラリーなどを開催してはどうか。

#### 【地域の歌をつくる】

- ・地域資源を歌詞にして、歌をつくってはどうか。

#### 【市電やロープウェイの活用】

- ・市電・ロープウェイを貸し切り、カフェなどに活用出来るようにしてはどうか。

## 地域の色などを考える

### ■今後の取り組み方

#### 【色のイメージの統一】

- ・地域の色をみて、調和のとれたものにしていきたい。
- ・派手な看板なども改善していきたい。
- ・「6つの大切にすべきこと」から地域の色に関する考え方を出せるのではないかな。

#### 【イメージづくり、規制などの難しさ】

- ・すぐに地域の色は決められない。
- ・藻岩山へ展望を守るなら、なんらかの規制が必要なのではないか。

## 地域のマップづくりについて

### ■現在の取組状況

- ・山鼻第18町内会が町内会向けのマップづくりを行っている(カフェもマップに入れる予定)。

### ■今後の取り組み方

#### 【連携を図ったマップづくり】

- ・山鼻第12町内会やロープウェイ振興公社などと協力しながら、マップづくりをしても良い。

#### 【藻岩山ならではの情景】

- ・藻岩山の昼夜の表情の違いや「原始林」であることを、伝えてはどうか。
- ・昔の話や過去の内容を盛り込んでも良い。
- ・地域の活動等(仏舎利塔でラジオ体操、普段の散歩コースなど)を載せてはどうか。来訪者にとって面白い情報かもしれない。

#### 【マップを見てもらう対象や情報の取捨選択】

- ・発信対象や、対象にごとの掲載情報の検討が必要になる。
- ・既存の他のマップと差別化する。
- ・円山、旭ヶ丘、伏見、山鼻など藻岩山に関する地区を紹介する。
- 【マップの作り方や配布場所】
- ・名刺サイズのコンパクトなものかどうか。
- ・スマートフォンなどでも、マップが見れるとよい。

## 観光客の案内

### ■今後の取り組み方

#### 【ボランティア活用】

- ・シルバー人材センターの活用などの方法を検討することも必要。

## 番外編：地域のイメージカラーについて～お試しアンケートの結果～

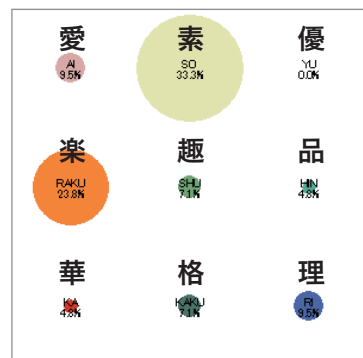
●札幌イメージコーディネート研究会(SICS)さんが独自で作っているアンケートについて、藻岩山周辺にお住まいの山鼻第12・第18町内会からご参加いただいた皆さんに、お試しで取り組んでいただきました。

### 参加者が思う 地域のイメージ形容詞ランキング

1. 自然な
2. 居心地の良い
3. 和やかな
4. 都会的な
5. 素朴な

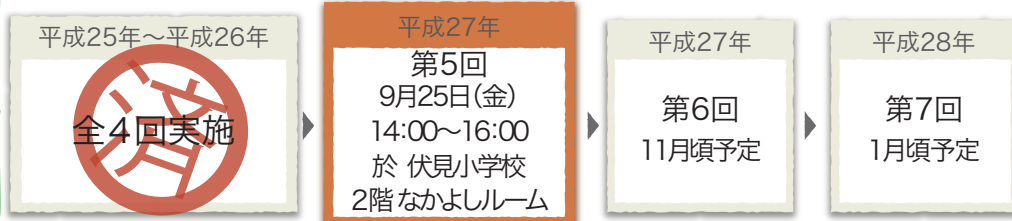


みなさんの住んでいる地域に合う形容詞を選び、それら形容詞のイメージを色に置き換えると右図のような結果となりました。



## 今後の予定について

● 第5回を下記日程で行います。参加希望の方は、右の連絡先までご連絡ください。



### お問い合わせ先

札幌市 市民まちづくり局  
都市計画部 地域計画課  
担当: 山本(純)、山本(成)  
TEL: 011-211-2545  
FAX: 011-218-5113

URL: <http://www.city.sapporo.jp/keikaku/keikan/index.html>  
さっぽろ市  
02-C05-15-1297  
27-2-816